

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	音楽	種目	オーケストラ等
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	こうえきざいだんほうじん さっぽろこうきょうがくだん		
	制作団体名	公益財団法人 札幌交響楽団		
	代表者職・氏名	理事長 堀井 友二		団体ウェブサイトURL
				https://www.sso.or.jp/
	制作団体所在地	〒 064-0931	最寄駅(バス停)	札幌市営地下鉄南北線「中島公園」
		札幌市中央区中島公園1番15号 札幌コンサートホール内		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな			
	公演団体名			
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	昭和36年7月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		理事長 堀井友二 副理事長 田中良治、箱石文祥 専務理事 荒木太郎 他理事18名/幹事2名/評議員20名	首席指揮者エリアス・グランディ 入団条件:一般公募のオーディションを実施。楽団員過半数の賛成票を得た者について選考委員会で協議、理事会決定により加入。	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	事業部 種池純子
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	総務営業部 櫻田千恵
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		<a href="mailto:taneike@sso.or.jp">taneike@sso.or.jp</a>		0115201771

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>1961年7月に札幌市民交響楽団として発足。翌年3月には財団法人札幌交響楽団となり、2009年10月に公益財団法人へ移行。北海道唯一のプロオーケストラとして「札幌」の愛称で親しまれる。2021年に創立60周年を迎え、より多くの道民に愛されるべく意欲的な活動を続けている。</p> <p>現在2名のコンサートマスターを含む72名の楽団員が在籍。年間約120回のオーケストラ・コンサートを行うほか、積極的に地域活動に参加し、小編成での教育福祉活動を北海道全域で展開している。60年の歴史の中では50周年のヨーロッパツアーなど節目ごとに海外公演を行い、これまでにアメリカ、英国、ドイツ、イタリア、東南アジア、韓国、台湾を訪問、各地で好評を博した。</p> <p>歴代指揮者は名誉創立指揮者の荒谷正雄、ペーター・シュヴェルツ、岩城宏之、秋山和慶、尾高忠明、マックス・ボンマー、ラドミル・エリシュカ、マティアス・バーメルトなどが務めた。</p> <p>現在の指揮者体制は、首席指揮者エリ阿斯・グランディ(2025年4月就任)をはじめ、名誉音楽監督 尾高忠明、友情指揮者 広上淳一、首席客演指揮者 下野竜也、正指揮者 川瀬賢太郎を擁している。</p>
	学校等における公演実績	<p>■札幌市内全小学6年生を対象とした音楽鑑賞教室「Kitaraファーストコンサート」(札幌市主催/年間10公演) ※2004年より継続実施、年間約16,000名が参加</p> <p>■北海道内各地での小中学生を対象とした音楽鑑賞教室(各自治体、教育委員会主催/北海道内8市町村)</p> <p>■高等学校主催の芸術鑑賞会(高校との共催で実施)</p> <p>そのほか、道内各地でのアンサンブルコンサート、吹奏楽部員向けの楽器講習会、ワークショップ等を毎年多数実施しています。</p>
	特別支援学校等における公演実績	<p>北海道内各地の特別支援学校でのアンサンブルコンサートを実施しています。(北海道教職員互助会助成事業、2004年以降継続実施)</p> <p>コンサートの実施については、各校の児童生徒の日常の様子、好きな楽曲や現在取り組んでいる楽器などについて担当教職員の方と詳細に打ち合わせを行い、ふだんコンサート会場に足を運ぶ機会の少ない児童生徒のみなさんも楽しめるように、楽器編成や選曲を工夫しています。</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	無	
	※公開資料有の場合URL		
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	
		PW:	

別添

あり

【公演団体名 公益財団法人 札幌交響楽団 】

本公演・ワークショップの内容

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	みんなのオーケストラ～世界ぐるっと名曲の旅～			
企画のねらい	児童・生徒が様々な国や地域のクラシック音楽に直接触れることで、豊かな感性と国際的な視野を育むことを目的として企画しています。 グローバル化や多文化共生が進む現代社会において、異なる文化を理解し尊重する姿勢を養うことは今後一層重要となっていくでしょう。クラシック音楽は、ヨーロッパに源流を持ちながら各国の歴史や文化と結びつき、世界中で親しまれてきました。本企画は、クラシック音楽の名曲で世界各国をめぐる「音楽の旅」です。児童・生徒が生音楽の響きに触れ、豊かな想像力を育むとともに、多様な文化の存在を実感し、国際理解の一步を踏み出すきっかけになることを目指しています。			
演目概要・演目選択理由	様々な国を代表する名曲をセレクト、特に『踊り』と『歌』をテーマにして、楽しい世界旅行に出かけます。 冒頭はアメリカの大衆音楽、わくわくする雰囲気です旅が始まります。オーケストラを構成する楽器の一つずつ紹介し、イタリアの美しい弦楽合奏曲、ロシアを代表するバレエ音楽をお聴き頂きます。続いては参加体験コーナー、みんなでウィーンの森の小鳥になります。そしてドイツへ移り『指揮者体験コーナー』、児童・生徒の代表者にオーケストラの指揮をしていただきます。ここで一旦故郷に戻り、みなさんの校歌をオーケストラ伴奏で合唱します。フィナーレは英国第二の国歌と称される勇壮な行進曲。どこかで聴いたことのある素敵なメロディーと参加型のコーナーで、どなたでも楽しめる構成になっています。			
児童・生徒の参加または体験の形態	★オーケストラと共演～みんなでカッコウ！～ ボルカ「クラップフェンの森で」の演奏で、カッコウ笛と一緒にリコーダーで演奏し、オーケストラと共演していただきます。 ★指揮者体験コーナー～誰でもマエストロ！～ ブラームス作曲「ハンガリー舞曲第5番」の一部分を使って、児童・生徒の代表にオーケストラを指揮していただきます。 ★訪問校校歌～みんなで歌おう！～ 訪問校の校歌をオーケストラ伴奏で合唱していただきます。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演		参加・体験人数目安	50～300名
			鑑賞人数目安	50～300名
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	♪アンダーソン／舞踏会の美女 ＜弦楽器紹介コーナー＞ ♪レスピーギ／「リュートのための古風な舞曲とアリア」第3組曲より“シチリアーナ” ＜管・打楽器紹介コーナー＞ ♪チャイコフスキー／バレエ「くるみ割り人形」より“花のワルツ” ＜オーケストラに参加しよう～みんなでカッコウ！＞ ♪J.シュトラウスⅡ／ボルカ「クラップフェンの森で」 ＜指揮者体験コーナー～誰でもマエストロ！＞ ♪ブラームス／ハンガリー舞曲第5番 ♪訪問校校歌 ♪エルガー／行進曲「威風堂々」第1番			
	公演時間	75	分	
出演者	指揮とお話：松本宗利音 管弦楽：札幌交響楽団(2管10型) ※別添メンバーリストあり			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度／名	指揮者：松本宗利音 1993年大阪府出身。東京藝術大学指揮科卒業(最優秀賞：アカンサス賞受賞) 指揮を尾高忠明、蔵野雅彦、高関健、田中良和各氏に師事。2025年4月から大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者に就任。 2019年から2022年まで札幌交響楽団指揮者を務めた。			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者： 59 名 スタッフ： 10 名 合 計： 69 名		運搬	積載量： 10 t
				車 長： 12 m
				台 数： 1 台

<b>本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安</b>	前日仕込		無		前日仕込所要時間		時間程度	
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出	
	8:30	9:00～11:00		14:00～15:15	無し	15:30～17:00	17:30	
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
<b>本公演 実施可能日数 目安</b>  <small>※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。</small>	6月		7月		8月		9月	
	4日		5日				3日	
	10月		11月		12月		1月	
							2日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計		14日
<b>公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真)</b>   <small>※会場条件につ いて最低限必要 な条件がある場 合には、様式 No.4内「会場簡 易図面」を記載し てください。</small>								
	<p>【本公演】</p> <p>体育館の広さ、児童生徒数によって、オーケストラの設置場所等は調整いたします。</p>							
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>							
<p>【ワークショップ】</p> <p>体育館や特別教室で実施。すぐそばで楽器を見たり、演奏を聴いたり、一緒に演奏する練習をします。</p>								
<b>著作権、上演権等 の許諾状況</b>	各種上演権、使用权等の許諾手続の要否			該当なし		該当コンテンツ名		
	該当事項がある場合	権利者名				許諾確認状況		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 公益財団法人 札幌交響楽団 】

ワークショップの  
ねらい

たとえ会場が自分たちの学校の体育館だとしても、ふだんオーケストラの演奏に馴染みのない児童・生徒のみなさんにとって、コンサートの楽しみ方自体がよくわからないこともあるでしょう。

ワークショップでは、楽器のこと、音楽のこと、そしてオーケストラで演奏する奏者について、すぐ目の前で演奏やお話をしながらレクチャーします。児童・生徒のみなさんが、演奏者個人とのコミュニケーションを通して、『オーケストラ』という集団への理解と興味を深め、より積極的に本公演に参加してもらえるような内容で実施します。

児童・生徒の  
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

50～300名

ワー  
ク  
シ  
ョ  
ッ  
プ  
の  
内  
容ワークショップ  
実施形態及び内容

## 【実施形態】

\*体育館や多目的スペースなど、広い会場に集まっていただき実施いたします。  
(各教室でのクラスワークも可能です。)

\*演奏者は、参加して頂く児童・生徒のみなさんと同じフロア、近い距離で楽器を見てもらったり、演奏やお話をします。

## 【内容】

★オーケストラやクラシック音楽について知ろう

\*アンサンブルやソロの演奏を鑑賞します。

\*オーケストラを構成する楽器について、歴史や構造、オーケストラでの役割などを学びます。

\*楽器の音が出る仕組みについて、手作りの楽器を使ってわかりやすく解説します。

\*音楽を構成する要素について学びます。(リズム、早さ、長調と短調の変化など)

★オーケストラ公演に向けて

\*本公演でのオーケストラとの共演練習をします。

(リコーダーで「カッコウ」演奏、指揮者体験)

\*本公演の際にオーケストラ伴奏で歌う「校歌」を通して、みなさんの学校や地域の素晴らしさを改めてみつめなおしてみます。

その他ワークショップに  
関する特記事項等

※対象人数や学年は問いません。

※実施校のご希望に合わせて、実施時間や内容を調整し対応いたします。



一般区分・特別エリア区分共通  
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 公益財団法人 札幌交響楽団 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。  
・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。  
・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。  
・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。  
上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。  
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。  
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。  
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。									
会場の設置階の制限		2F以上可(エレベーター必須)		主幹引き込み電源容量				A以上		
舞台設置面積	間口	16 m		奥行	10 m					
	高さ	m								
舞台設置場所	フロア対応	可		学校のステージでの対応			条件が合えば可			
搬入間口の広さ	幅	2 m		高さ	2 m					
遮光の要否	5割程度必要			緞帳の要否			不要			
ピアノの使用について	使用しない			ピアノを使用する場合の設置位置の指定						
				ピアノを使用しない場合の移動の要否			要			
搬入車両(トラック等)の横づけ	必須			トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			10 m以内			
搬入車両の種類	大型トラック			台数	1 台					
搬入車両の大きさ	車幅	2.49 m		車長	12 m					
備考										

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否		
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		

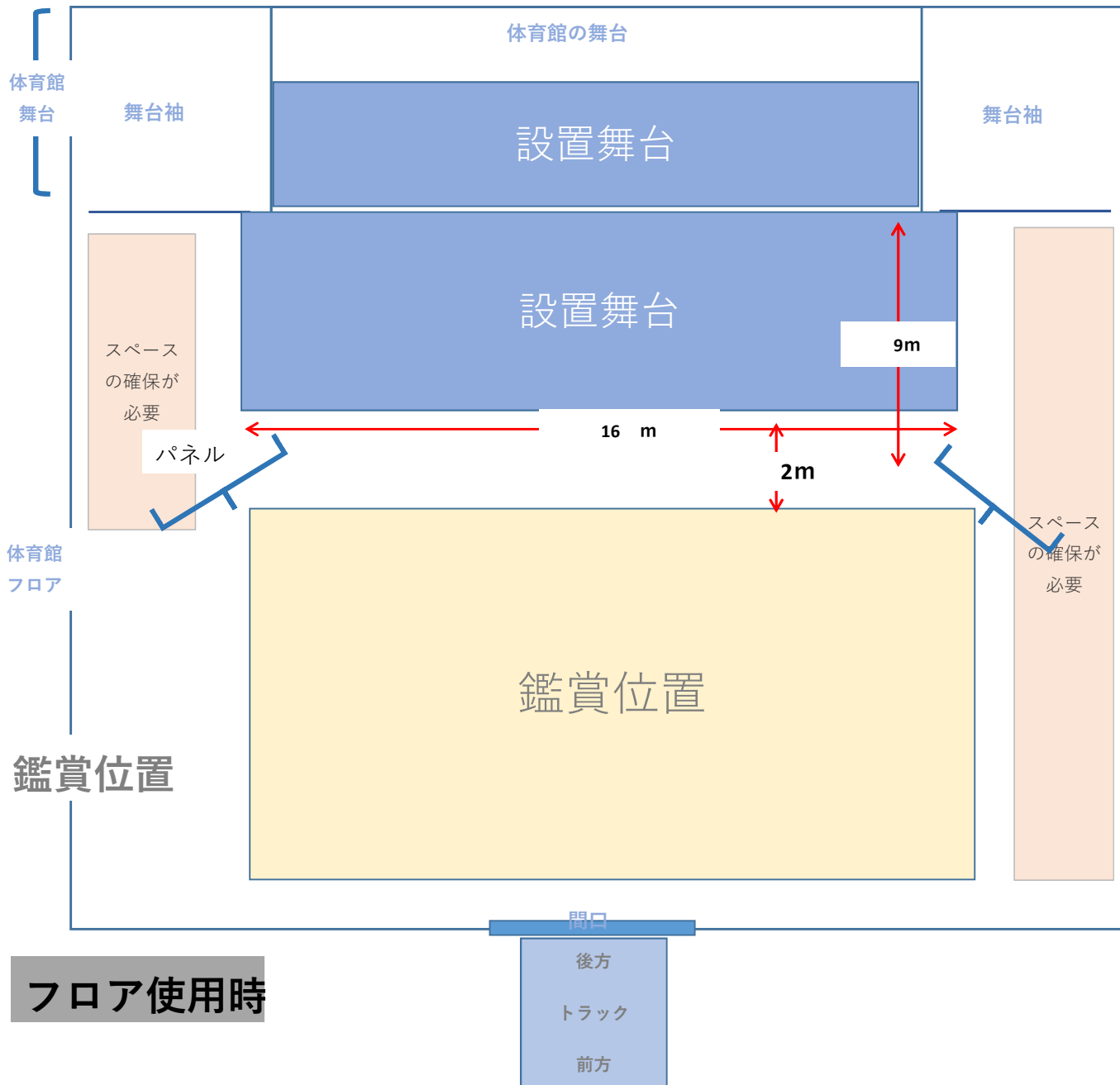
時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
本公演						
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		

(任意) 会場条件について最低限必由条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面





別添

なし

【公演団体名 公益財団法人 札幌交響楽団 】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

## 【本事業を通じて実現したいこと】

現代社会では、インターネットやデジタル技術によって世界中の膨大な情報が簡単に手に入る一方で、実際に「五感で体感する」機会は少なくなっているように思います。だからこそ、生の音楽を聴くことには大きな意味があります。録音や映像では得られない、ひとつひとつの楽器が持つ音の響きの深さ、演奏者の息づかい、会場の空気感を味わうことで、豊かな感受性が育まれると考えます。

また、学校教育の現場において「体験型の文化芸術活動」を推進することにより、地域や社会全体に文化的価値を広げる効果が期待できます。過去と未来、様々な国や地域を繋ぐクラシック音楽を紹介し、児童・生徒と地域社会が芸術文化の豊かさを理解するきっかけとなること、将来にわたって文化芸術を担う人材育成につなげ、文化の継承・発展に寄与することを目指します。

音楽には、歴史や文化、言語の違いを超えて、人と人をつなぐ力があります。当団は、児童・生徒が音楽の楽しさとその力を体感することによって自分たちを取り巻く世界への関心を広げ、未来を自分らしく生きていく力を育んでほしいと願い、その実現に向けて本事業に取り組んでまいります。

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

実施校の児童・生徒は、年齢や経験、地域によって、音楽への興味や習熟度、集中力にも大きな差があります。参加者みなさんがそれぞれに楽しめるように、まずはワークショップの際にコミュニケーションを図ります。敷居が高いと思われがちなクラシック音楽ですが、その演奏者たちはどんな人なのか？ごく近い距離で、目を合わせてお話しすることで、お互いへの理解と興味を深め、積極的に事業に参加してもらえるように努めます。

また、参加児童・生徒自身だけではなく、保護者や地域のみなさまにも興味を持ってもらえるように、実施校教職員の皆様と連携し、地域や学校のおよきイベントとして盛り上げていきたいと考えています。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

## 【学校との連絡調整について】

学校長へのご挨拶、ご担当の教職員への事業実施予定の確認をお電話で、その後は確実な実施調整のため、メールで丁寧にご連絡いたします。

スケジュールの調整やご準備のお願いについては、必要な資料をお送りして確実に進めます。また、自然災害や感染症対策など、不測の事態への対応についても、実施校が安心して事業に参加して頂けるよう、適切・柔軟に対処してまいります。

## 【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

実施校に確認し、必要な対応があれば柔軟に行ってまいります。

## 【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

ワークショップの際には、質問コーナーを設けることが多いですが、その場ではすべての質問に答えられないこともあります。その場合は本公演までの間に文書でやり取りをしたり、本公演の際にお答えしています。また、本公演終了後も継続的な学びにつながるよう、HPやSNSでの情報発信や、楽団の様々な演奏活動について積極的にお知らせしてまいります。

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名	公益財団法人 札幌交響楽団	】
No.2別紙 メンバー表	札幌交響楽団			
	【コンサートマスター】 会田莉凡 田島高宏			
	【ヴァイオリン】 桐原宗生 小林美和子 赤間さゆら 飯村真理 井上澄子 岡部亜希子 河邊俊和 熊谷勇大 佐藤郁子 多賀万純 高木優樹 竹中遥加 龍田香菜美 鶴野紘之 ディパスクアーレ・ヴィンチェンツォ 土井奏 富田麻衣子 中村菜見子 三原豊彦 山下暁子			
	【ヴィオラ】 廣狩亮 鈴木勇人 樋本朱音 原香奈恵 青木晃一 荒木聖子 仁木彩子 物部憲一			
	【チェロ】 石川祐支 猿渡輔 荒木均 小野木遼 角野友則 武田芽衣 廣狩理栄 横山桂			
	【コントラバス】 吉田聖也 稲橋賢二 飯田啓典 大澤敬 齋藤正樹 下川朗			
	【フルート】 クリス・ウォン 川口晃 福島さゆり			
	【オーボエ】 関美矢子 浅原由香 宮城完爾			
	【クラリネット】 三瓶佳紀 白子正樹 原田侑來			
	【ファゴット】 坂口聡 夏山朋子 村上敦			
	【ホルン】 土谷瞳 岩佐朋彦 折笠和樹 花澤良平			
	【トランペット】 福田善亮 籠谷春香 小林昌平 佐藤誠			
	【トロンボーン】 山下友輔 中野耕太郎 田中徹			
	【バス・トロンボーン】 澤山雄介			
	【チューバ】 玉木亮一			
	【打楽器】 入川奨 大家和樹 大垣内英伸			
	【ハープ】 エキストラ奏者			
※上記は在席する楽団員のリストです。出演者は調整の上決定します。(2025/10/1現在)				